

# 今、求められる地域包括ケアシステム

～自分らしい暮らしを続けるためのしくみ～

2025年には団塊の世代が後期高齢者である75歳を迎えるなど、高齢者の増加に伴い、今後介護を必要とする人がますます増えることが予想されています。市では、地域全体で高齢者の生活を支える地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

総合相談窓口 高齢者支援課地域包括支援センター ☎0537-1167

## 地域包括ケアシステムのイメージ

「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に提供できる体制をみんなでつくっていきます。



### 医療

普段は、かかりつけ医による在宅医療、具合が悪いときは入院などに切り替えましょう。

#### 【具体的な取り組み】

- ・ 自宅に伺う医療サービス  
訪問歯科診療、訪問薬剤指導、  
訪問看護、訪問リハビリ

### 住まい

いつまでも  
安心して過ごせる  
環境づくり

### 介護

自宅や施設など、介護サービスを  
活用しましょう。

#### 【具体的な取り組み】

- ・ 通所介護、訪問介護、福祉用具貸与など在宅サービス
- ・ 特別養護老人ホームなどの施設サービス
- ・ 認知症の人が安心して暮らせるサービス

## 本人・家族

皆さん一人一人が  
「どのように暮らしたいか」が大切。

自己選択・自己決定

## 専門職の連携を向上

### ●多職種連携●

医療や介護で働くさまざまな職種が、本人が望む生活を実現できるよう連携を図ります。



▲多職種連携会議の様子

## 在宅介護への期待

平成28年度の高齢者の実態に関する調査では、介護に関して下のグラフのような結果が出ています。

65歳以上の人の78.6%が自宅での介護を希望しています。

「どのような介護を期待するか」

